

品川の戦争を語り継ぎ平和を考える

「しながわ平和のための戦争展」ホームページ開設に当たって

「しながわ平和のための戦争展」は、1984年戦後40年を迎える年に始まりました。第1回「しながわ平和のための戦争資料展」を開くにあたっての文では

「戦争を知らない世代が多くなってきて戦争体験者の数も減り、資料も年月が経つに連れ散逸する危険が生まれています。そこで、私たちは「戦争の恐ろしさと平和の尊さ」を伝えたい」と品川における戦争体験、戦争遺跡を掘り起こし継承するために「しながわ平和のための戦争資料展」を開催することにしました。再び過去の過ちを繰り返すことのないよう平和のために役立つことを願います。地域の人々の戦争体験を語り継ぎ、戦争の持つ残忍さを明らかにし、戦争を食い止める力を大きなものとし、平和を守る人々の輪を広げていきましょう。」

と呼びかけています。

2020年戦後75年の年に世界を新型コロナの感染が襲いました。日本でも春先から感染者は増え、東京オリンピックが延期となり、予定していた「第37回品川平和のための戦争展」も開催ができなくなりました。戦争を語り継ぐ方も80代後半から90代となり、証言や資料の収集は一刻を争う事態となりました。そんな中で、今まで集めた資料をデジタル化して皆さんに見てもらえるようにしたいと考えるようになりました。

戦争展実行委員会は、今まで証言をしてくださったり資料を提供してくださったりしたたくさんの方々に支えられてきました。資料を多くの若い人々に見ていただき平和を生み出す力にしていだきたいと思っています。

2021年1月 しながわ平和のための戦争展実行委員会

扇谷道子 西條明子